

9月7日は総合防災訓練です（メイン会場／新宮小学校）

想定直下型地震 震度6強が 高山市を襲う

災害が大きくなればなるほど、災害発生直後の防災関係機関の活動が制限されるため、地域住民の助け合いや人命救助などの取組みが大切になります。

阪神・淡路大震災では、被災された方の約8割が消防団や近隣住民によって救出されています。また、能登半島地震や新潟県中越沖地震では、自主防災組織の活躍により高

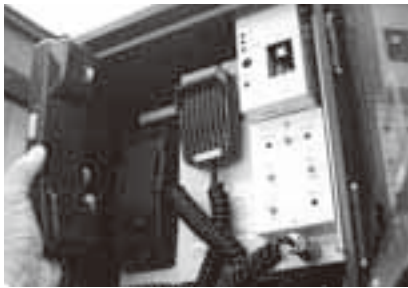
齢者の避難支援などが迅速に行われました。

約50団体・3500人が参加して行う今年の総合防災訓練には、「市南部を震源とするM7・6の地震が発生。震度は6強」という想定で、地震発生後の実践的な訓練を行います。

自然災害は決して「他人事」ではありません。いつ、どこでも起こり得るものだという危機意識を持つことが大切です。災害が起きたとき、自分の住む地域を守るかどうかは、日ごろからの物心両面の備えと地域社会の助け合いにかかっています。



市内各所に整備されている屋外拡声器。有事の際の重要な情報伝達手段の一つです



拡声器には無線電話が備え付けられ、市役所本庁と通話ができます。訓練中は試験交信が可能です

問合せ先

企画課
☎35・3131
各支所地域振興課

地震発生！ そのとき、あなたはどうしますか？

防災訓練では9月7日(日)午前8時に、緊急地震速報発令後、防災行政無線やヒッツFM、安全安心情報メールで訓練の内容をお伝えします。市民のみなさんは、「防災初動訓練」として次のことを行い、防災訓練に参加しましょう。



災害は一瞬にして生命や財産を奪い、それまでの生活基盤を破壊するだけでなく、その後の生活に大きな影響を与えます。地震や豪雨など自然災害を避けることはできません。しかし、日ごろからの準備や訓練で被害を最小限に抑えることはできます。

市では9月7日、『総合防災訓練』を新宮小学校および周辺地域、各支所地域で行います。いつ起こるかかわからない災害に備え、地域の「防災力」を高めましょう。

防災初動訓練(高山市民全員が対象です)

- ① 事前に家族でハザードマップなどを使い、避難場所や経路を確認しておく。
- ② 家のガス栓などを締め、電気のブレーカーを落とし、火災などの二次災害を防止する。
- ③ 家族で声をかけあい、屋外に避難する。
- ④ 近所の高齢者家庭などに声をかけ、安否を確認する。
- ⑤ 家族で最寄りの避難所までの経路を実際に歩いてみる。

●お知らせ● 朝日地域の防災訓練会場が西洞公民館から秋神集落センターに変更しました。

2008.9.1